

# 南部地区小中学校の現状、 再編整備の考え方と課題について

---

令和5年8月24日

諏訪市教育委員会

# 1. 南部地区小中学校の児童生徒数 (令和5年5月1日現在)

---

## ◆四賀小学校 308名(15クラス)

1年生 58名    2年生 43名    3年生 51名  
4年生 41名    5年生 52名    6年生 63名

## ◆中洲小学校 612名(25クラス)

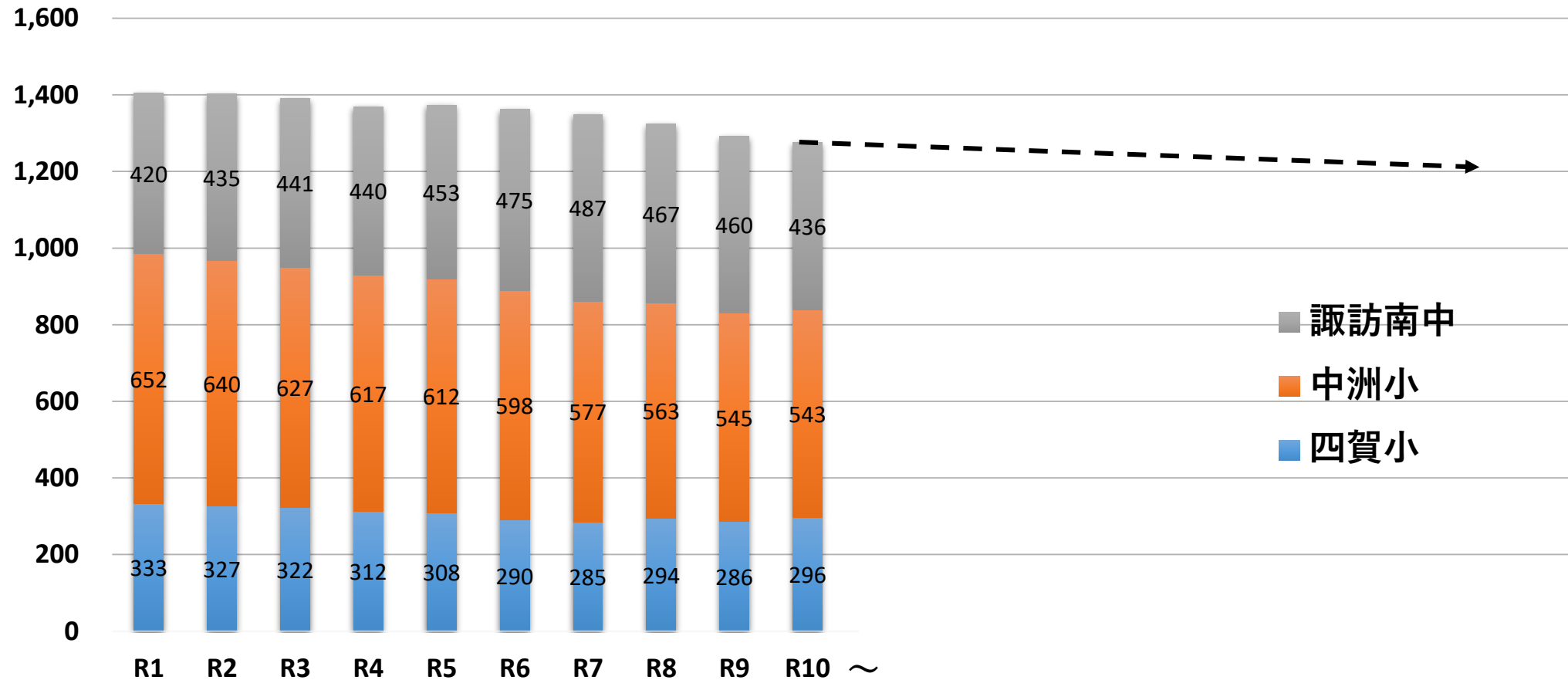
1年生 97名    2年生 93名    3年生104名  
4年生 90名    5年生109名    6年生119名

## ◆諏訪南中学校 453名(19クラス)

1年生152名    2年生151名    3年生150名

**合計 1,373名**

# 南部地区小中学校児童生徒数推計



各年5月1日現在の  
実績数

住民基本台帳上の令和  
4年4月1日までに出生  
した子の数で推計

※転入・転出等社会的要因は加味していない。

## 2. 南部地区小中学校施設情報

---

### ◆四賀小学校

昭和43年建築 建築年数:55年

施設概要:校舎、体育館、プール 等

敷地面積 16,567.00m<sup>2</sup>

### ◆中洲小学校

昭和48年建築 建築年数:50年

施設概要:校舎、体育館、プール 等

敷地面積 18,532.00m<sup>2</sup>

### ◆諏訪南中学校

昭和60年建築 建築年数:38年

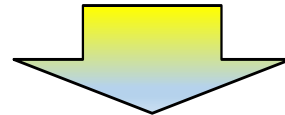
施設概要:校舎、体育館、武道場、プール 等

敷地面積 23,936.00m<sup>2</sup>

# 3. 老朽化した施設の方向性の検討

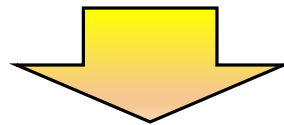
老朽化した施設の方向性について、それぞれの学校の建築年や立地条件等により大規模改修の必要性や現地建替えの可能性について検討。

項目 \ 学校	四賀小学校	中洲小学校	諏訪南中学校
建築年	S43年築	S48年築	S60年築
ハザードマップ	土砂災害警戒区域（急傾斜） ※土砂災害特別警戒区域	浸水想定区域	浸水想定区域
大規模改修	喫緊に必要	近い将来必要	今後段階的に必要



現地建替え	防災上困難	可能	可能
-------	-------	----	----

- ◆3校の中では建築年数が長い四賀小学校校舎は特に老朽化が進み、喫緊に大規模改修が必要。(中洲小学校も近い将来必要)
- ◆敷地の条件により、四賀小学校校舎及び敷地を活用していくことは難しい。
- ◆南部地区に適切な学校用地を新たに確保することは難しい。
- ◆よって、諏訪南中学校及び中洲小学校敷地を活用した施設再編について検討。



項目 \ 学校	中洲小学校	諏訪南中学校
敷地面積	18,532.00m <sup>2</sup>	23,936.00m <sup>2</sup>
学校の位置	四賀小学区からやや離れる	四賀小・中洲小学区のほぼ中心

## 4. 再編に向けた考え方

---

四賀小学校、中洲小学校、諏訪南中学校を含む南部地区3校を中心的な対象として、現在の諏訪南中学校の敷地を活用し、施設一体型



小中一貫校として再編・整備することを目指す。

# 5. 現在の諏訪南中学校の敷地を 活用して再編整備していくうえでの課題

---

- ◆通学区の考え方
- ◆通学距離に対する考え方
- ◆四賀小・中洲小跡地の利活用
- ◆南中の周辺の整備（周辺道路、通学路、歩道橋等）
- ◆用地買収の必要性 など



# 6. 今後の進め方

---

